

■マイナンバー講習会

平成27年8月28日(金)17:30～  
大阪キャッスルホテル

■ビアパーティ

平成27年8月28日(金)19:00～

錦城閣

■ゴルフコンペ

平成27年10月28日(水)

飛鳥カンツリー倶楽部(予定)

■新年互礼会

平成28年1月27日(水)

帝国ホテル大阪

■第66期通常総会

平成28年6月17日(金)

未定

## drupa、IGASの開催周期が3年に

世界最大規模を誇る国際印刷・メディア産業展「drupa」の開催周期が3年へと変更される。

これは、デュッセルドルフで行われたdrupa実行委員会において正式決定されたもので、次回の2016年開催以降適用される。

メッセ・デュッセルドルフでは、以前から開催サイクルを3年へと変更する方向で協議を進めてきた経緯があったものの、2012年11月2日に行われたdrupa委員会の会議では、4年周期を維持することが正式に決議されていた。

これを覆す形で3年周期への変更が決定した経緯について、drupa実行委員会会長であり、KBA社の会長でもあるC.ボルツァ・シューネマン氏は「インターネットやデジタル技術の影響により、印刷工程が急激に変わり、新たな応用やソリューションが求められ、そして発展し、それが新たなビジネス分野を開拓してきている。加えて、3D印刷、プリンテッドエレクトロニクス、機能性印刷といった革新的な技術にも関心が集まっている」と説明している。

「顧客にとって大事なことは、最新技術の全体像をつかみ、新たなビジネスモデルやソリューションに対する発想や刺激を得ることだ。これを提供できる世界でも類のない業界メッセ「drupa」の開催周期が3年へと変わることは、自然な流れだ」。

drupaが今後3年ごとの開催へと変わることで、良い効果も期待できる。それは、印刷業界の参加も多い「interpack-国際包装産業展」との兼ね合いだ。

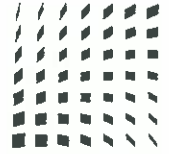
メッセ・デュッセルドルフ社のW.M.ドーンシャイト会長は、「包装印刷をビジネスラインに持つdrupa出展者にとって、関心の高いinterpackとdrupaの同年開催は、この決定により解決される」との考えを示している。

次回以降の具体的な会期は未定だが、drupaは2019年、2022年、2025年と3年ごとのdrupa開催月である5月にデュッセルドルフで開催されることとなる。

これを受け、印刷機材団体協議会(宮腰巖会長)は、国際総合印刷機材展「IGAS」の開催周期も現在の4年から3年に変更することを発表した。

同協議会では、IGASおよびJGASを2年毎に交互開催してきたが、2015年開催(6頁参照)以降については、JGAS開催を中止し、IGASを3年周期で開催することを決定。次回開催は2018年になる。

同協議会では、「世界における印刷関連業界は、多様な情報メディアの出現と普及、デジタル技術の革新などにより急激な変化の中にある。いわゆる世界4大印刷機材展のひとつであるIGASにおいても、最新技術やソリューションを世界に発信する場として、さらに進化していくことが求められている」とし、今回の開催周期の変更に伴い、アジアにおけるプレゼンスを高め、これまで以上に顧客視点に立った革新的なIGAS開催を目指す方針だ。



print media messe  
**drupa**  
düссeldorf, germany  
www.drupa.com



安全・有利・手軽な  
国の退職金制度を活用しませんか。



中退共 職金共済制度  
CHU 小企業 退 TAI 職金 共 KYO 済制度

詳しくは  
ホームページをご覧ください。

中退共

検索

国の制度だから安心  
掛金の一部を国が助成します。

掛金は全額非課税  
手数料もかかりません。

社外積立で管理も簡単  
退職金試算額などをお知らせします。

(独)勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL(03)6907-1234 FAX(03)5955-8211